

平成26年7月1日

市議会議長・都丸政行殿

## 会派「絆」行政視察研修報告の件

日時：平成26年6月24日～26日（3日間）

視察場所：北海道恵庭市と北斗市

視察議員：都丸均、茂木弘伸、吉田利治、丸山正三、入内島英明（記）

### 1・恵庭市視察内容・・・スマートEガーデンえにおプラン

恵庭市は、石狩平野の南西端に位置し、札幌、小樽、石狩湾新港から苫小牧、室蘭湾にいたる道央ベルト地帯の中央にあって、陸、海、空路すべての交通に恵まれている。また、自衛隊の町として知られている。現在の自衛隊員は8千人、企業はサッポロビールやダンボール工場がおおくある。農業も盛んで、メロン、人参、ジャガイモ等々を全国へ出荷しているとのことである。また、花の街として力を入れている。多くのボランティア活動員が、自分たちで種をまき育てた苗を街路地に植栽して、草むしりもしていた。人口は、6万6千3百人くらいで、微減とのことである。

### 2・北斗市視察内容・・・北斗市観光情報路側等表示について

北斗市は、肥沃な大地と温暖な気候に恵まれ、漁業と商工業を中心とし発展してきた上磯町と、農業を中心とし発展してきた大野町が合併し、道内三十五番目の市となる北斗市が平成18年2月1日に誕生した。旧両町は、昭和五十九年にテクノポリス函館の地域指定を受け、工業団地の造成などによる企業誘致を積極的に進めてきた。その結果、田園工業都市としての着実な発展と、安全で快適な質の高い住環境整備とが相まって定住化が進み、函館圏域の中で著しい人口増加を遂げている。函館市のベットタウン。北海道水田発祥の地としても有名。トラピスト修道院は男子修道院で正式名は「厳律シト一会灯台の聖母大修道院」という。

北斗市は、観光にはあまり力を入れて取り組んでいなかった（取り組む必要がなかった）が、平成27年度末、北海道新幹線が開業し、新函館北斗駅が誕生することで、観光に力を入れることとなる。

以上。